Panasonic

SmartLighting Eco
環境配慮型ダウンライト

取扱説明書
保管用

品番　NDFT21770K・NDFT21771F・NDFT31770K
NDFT31771F・NDFT41774K・NDFT41775F

・器具の取りつけには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

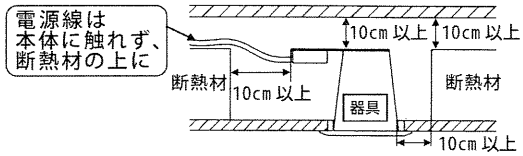
安全に関するご注意

⚠危険

●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

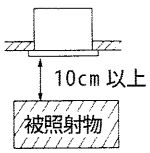
・住宅の断熱施工天井には、使用できません。

器具は、断熱材・防音材・造営材等と下図のような空間を設けて施工してください。



⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
火災・感電・落下の原因となります。
●器具の取りつけ部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。
火災の原因となります。
●水平天井埋込専用です。壁取りつけや天井直づけ及び傾斜天井への取りつけはしない。
火災・落下の原因となります。
●必ず表示された定格電圧（１００～２４２Ｖ）±６％の電源電圧で使用する。
火災・感電の原因となります。
●器具と被照射面は１０ｃｍ以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。



⚠注意

●一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、水気の多い場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しない。
火災・感電・落下・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。
●軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所で使用しない。
火災・感電・落下・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃で使用する。
指定外の周囲温度で使用すると、火災またはランプ短寿命の原因となります。
●振動のある場所では使用しない。
火災・感電・落下・取りつけ面のスキマおよび変形の原因となります。
●エコケーブル等の硬い電線を使用する場合は、端子台に力がかからないように注意する。電源線接続時や本体取りつけ時に端子台に過度の力がかかり、端子台破損・はずれによる感電の原因となります。

施工上のご注意

●取りつけ面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつけてください。
サビや変色の原因となります。
●信号線用端子台に電源線を絶対に接続しないでください。
故障の原因となります。
●器具は当社ライトコントロールと組合せてご使用ください。
他のライトコントロールを使用すると、器具故障の原因となります。
●蛍光灯は周囲の温度や風により明るさが変化します。
プレナムリターン等の換気方式で器具への空気の出入りが強い所や、低温となる場所では使用しないでください。
極端に暗くなったり、点灯直後にちらつきが発生する原因となります。

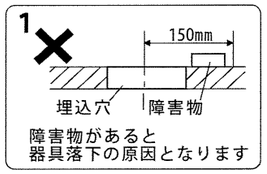
取説No. NDFT31770K-TA

各部のなまえと取りつけ方

1．取りつけ前の確認をする

・器具質量（約1.0kg）に十分耐えるよう、
取付部の強度を確保する。
・天井裏には埋込穴の中心から半径１５０㎜の間に
障害物がない事を確認する。

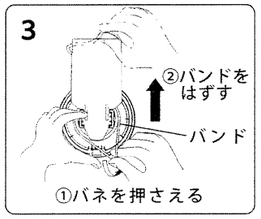
不備がありますと器具落下の原因となります。



2．天井にΦ150 ± 2㎜の埋込穴をあける

**不備がありますと器具落下・天井材と枠の隙間の
原因となります。
※精度良く埋込穴をあけるのに
ダウンライトカッターをおすすめします。**

3．バンドを取りはずす

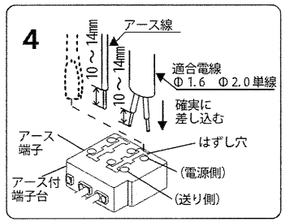


4．電源線と信号線をそれぞれ端子台に接続する

**器具故障の原因となりますので、信号線用の端子台には
絶対に電源（負荷出力）線を接続しないでください。**

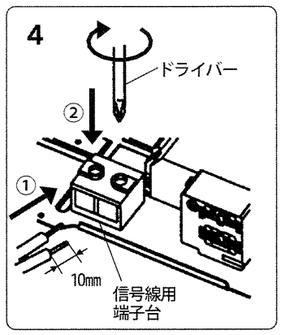
電源（負荷出力）線の接続

・電源（負荷出力）線を電源線用端子台の
差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
・電源線用端子台の送り容量は２０Ａです。
（但し、信号線容量により連結台数は
ライトコントロールの取扱説明書に
したがってください。）
・接地端子を使用し、Ｄ種（第３種）接地工事を行う。
**接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、
火災の原因となります。**

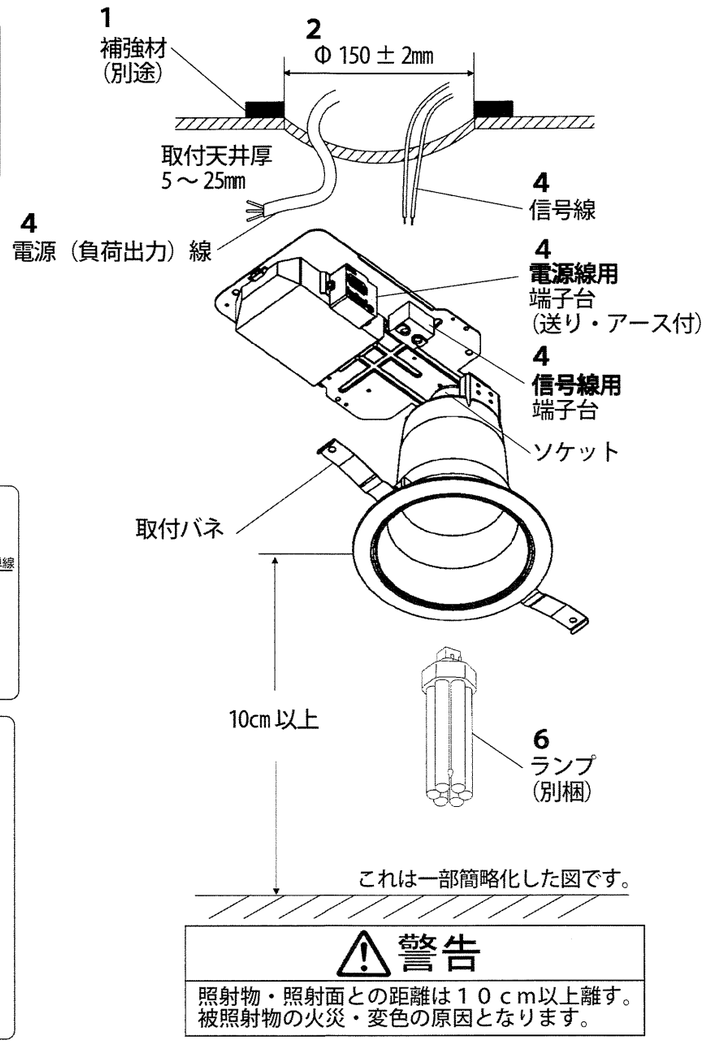


信号線の接続

・信号線の接続は下記の手順で行う。
①信号線を信号線用端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
②ドライバーで確実に締めつける。



ロックウール等のやわらかい天井には取りつけない。
天井材損傷・器具落下の原因となります。



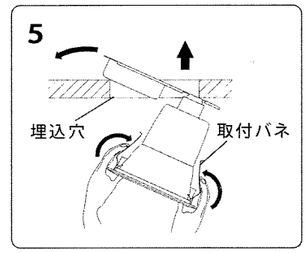
⚠警告

照射物・照射面との距離は１０ｃｍ以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

5．器具を取りつける

・取付バネを矢印方向へ縮めて枠部が
天井材に当たるまで埋込穴に押し込む。

不備がありますと落下の原因となります。



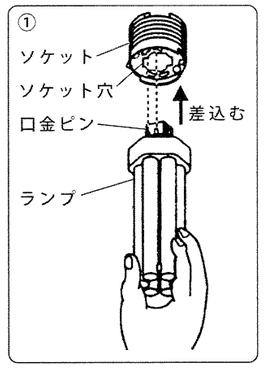
6．ランプ（別梱）を確実に取りつける

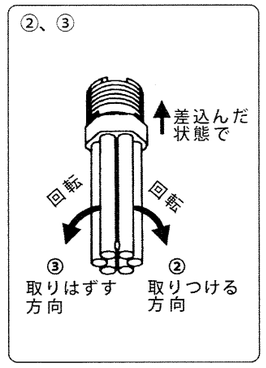
①ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。

②差込んだ状態でランプを少し回転させ取りつける。
（回転角度約15°）

③取りはずす場合には、ソケットに取りついた
状態のままランプを取りつけと逆方向に少し回転させる。

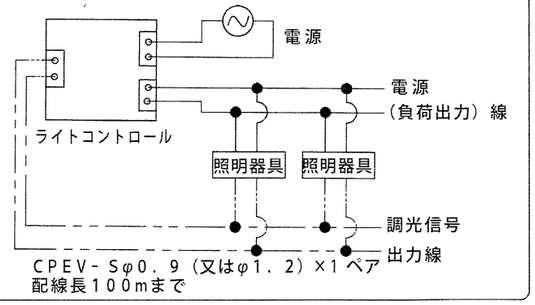
**回転が不十分な場合、落下の原因となります。
ガラス管を強く握らないでください。
割れるおそれがあります。**



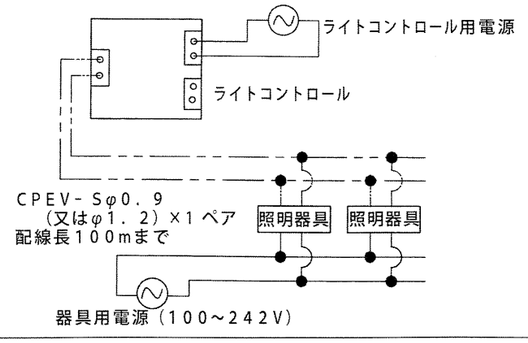


＜結線例１＞ ライトコントロール・信号線式（ＬＥＤ・インバータ蛍光灯用）と同一電源で使用する場合

注意）雑音障害をおよぼす場合がありますので、
照明器具以外を同一電源に接続しないでください。



＜結線例２＞ ライトコントロール・信号線式（ＬＥＤ・インバータ蛍光灯用）と別電源で使用する場合



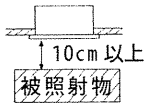
取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
●器具と被照射物の距離は、１０ｃｍ以上離す。被照射物の火災、変色の原因となります。
●異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。



⚠注意

●器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災の原因となります。
●ランプ交換の際には、器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災やランプ破損の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置して１０年（※）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

●ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
●同時通話機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
●消灯する場合は、電源スイッチをＯＦＦしてください。調光ツマミではＯＦＦできません。
●シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損および反射板のはがれの原因となります。

保証について

●保証について　この商品の保証期間は１年間です。但し、蛍光灯器具・ＨＩＤ器具の安定器・ＬＥＤ電源は３年間です。ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログを参照ください。
●保証書について　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
●補修用性能部品の保有期間　弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ･ランプ交換

⚠注意　必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因となります。

＜器具の清掃について＞・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
力を入れてこすると、傷が付くおそれがあります。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損および反射板のはがれの原因となります。

＜ランプ交換について＞・器具表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。
すべりやすい手袋はご使用にならないでください。ゴム手袋の使用をおすすめします。

品番	推奨ランプ
NDFT21770K NDFT21771F	２４形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製）ＦＨＴ２４
NDFT31770K NDFT31771F	３２形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製）ＦＨＴ３２
NDFT41774K NDFT41775F	４２形コンパクト形蛍光灯（ＯＳＲＡＭ製）ＦＨＴ４２

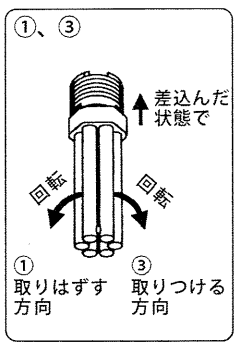
⚠注意

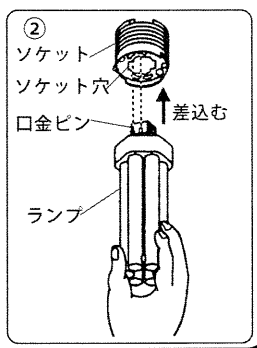
・点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと。
やけどの原因となります。
・ランプを確実に取りつける。落下の原因となります。
・ガラス管を強くねじらない。割れるおそれがあります。

ランプの取りつけ･取りはずし方法

①ソケットに取りついた状態のままランプを少し回転させ取りはずす。
（回転角度約１５°）
②ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差込む。
③取りつける場合には、差込んだ状態で取りはずしと逆方向に回転させる。

すべりやすい手袋はご使用にならないでください。
ゴム手袋のご使用をおすすめします。





パナソニック電工株式会社 ナショップ･調光システム事業部　(〒571-8686)大阪府門真市門真1048

0T1010-0